

## 国語科 現代文B 学習指導案

実施日 令和元年11月27日(水)  
 授業者 森元弘毅  
 場所 県立秋田中央高等学校3年B組

1 単元名 関連する資料や文章を読み、自分の考えを深めよう。

### 2 単元の目標

- (1) 多様な資料や文章と関連付けて、「写真の持つ力」について考察を深めようとする。  
 (関心・意欲・態度)
- (2) 多様な資料や文章と関連付けて、「写真の持つ力」について考察を深める。  
 (読む能力)〈指導事項のウ〉
- (3) 文章の組み立てや展開、文脈に即した語句の意味や表現の仕方などを理解する。  
 (知識・理解)

### 3 取り上げる言語活動と教材

言語活動：グループで話し合い、「写真の持つ力」について考えたことを発表する。

教材：◎長倉洋海「写真の持つ力」(高等学校改訂版現代文B 第一学習社)

- 高橋智史「RESISTANCE カンボジア 屈せざる人々の願い」(2018年 秋田魁新報社)
- 高橋智史「素顔のカンボジア」(2014年 秋田魁新報社)
- さきがけこども新聞 フォトジャーナリスト 高橋智史さん(2019年5月12日付 秋田さきがけ)

### 4 本単元で育成しようとする「ことばの力」

多様な資料や文章を基に、必要な情報を関連付けて読む力

### 5 評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
多様な資料や文章を基に、読み取ったことを相互に関連付けながら「写真の持つ力」について自分の考えを深めようとしている。	多様な資料や文章を基に、読み取ったことを相互に関連付けながら「写真の持つ力」について自分の考えを深めている。	文章の構成や段落相互の関係、文脈に即した語句の意味を的確に理解している。

### 6 生徒と単元

(1) 生徒の実態(男子15名、女子21名、計36名)

明るく活発なクラスで、授業に対して意欲的に取り組む生徒が多い。特にグループによる話し合い活動では積極的に意見を交流する場面が見られる。その一方で、筆者の主張をただ受容するだけでなく、批判的な視点から検討したり疑問点を持ったりして自分の考えを深めることが求められる。また、筆者の主張について自分なりに理解したり解釈したりしたことを自分の言葉で表現し、相互

に伝え合うことに苦手意識を持っている生徒も少なくない。協働的な学びを通して、他者（テキストや筆者を含む）との対話により自分の考えが深まっていくダイナミズムを味わわせることで、主体的で自立した読み手へと成長できるよう促したい。

(2) 本単元（教材）について

「スマホ」の普及によってSNSが隆盛を極める時代となり、「インスタ映え」という流行語に象徴されるように、現在の高校生にとっても写真は日常生活に彩りを加える必要不可欠なツールになっている。しかし、日常的に親しんでいる写真の持つ意義や価値について深く考える機会はほとんどないと言っているのではないか。

本文は、フォト・ジャーナリストの在り方を論じつつ、「写真の持つ力」とは何かを問い直させる教材である。さらに秋田県出身のフォト・ジャーナリスト高橋智史の写真集およびフォト・ルポルタージュを関連資料として提示することで、日常のありふれた写真の在り方を見つめ直すとともに新たな見方や考え方、認識の深まりが期待できると考えた。写真集「RESISTANCE カンボジア 屈せざる人々の願い」は2019年度第38回土門拳賞受賞作であり、カンボジアの政治的な混乱、土地の強制収奪、急激な経済成長とその陰に生きる人々の記録である。また、フォト・ルポルタージュ「素顔のカンボジア」には、カンボジアでの取材を通して「伝える」ことの意義と責任を考え続けたフォト・ジャーナリストとしての苦悩や葛藤、そして人々に寄り添う温かな眼差しが綴られている。これらを基に、本文中にある「新たなスタイルのフォト・ジャーナリズム」「既成概念に縛られない想像力」「世界の人々と『共に生きている』」とはどういうことかを理解することを通して、卒業後実社会に踏み出す生徒が社会や世界をどのように見つめ、関わっていこうとするのか、その意識の扉を開くきっかけになってほしいと願い、本単元を設定した。

(3) (1) (2) を受けた、本単元の指導について

まず第一に、筆者の主張を的確に理解することが必要である。そのとき、筆者の主張への批判的な視点や疑問点などを押さえ、主体的な読解力へとつなげたい。一方で、本文中の「撮る者と見る者が互いに感応し合う」「新たなスタイルのフォト・ジャーナリズム」「既成概念に縛られない想像力」「希望が湧いてくる写真」「世界の人々が『共に生きている』」ことを実感させてくれる手段」などのキーワードを、生徒が実感を伴い内面化して理解することに難しさもある。そこで、同じフォト・ジャーナリストの写真集と文章を関連させることで、必要な情報を関連付けて自分の考えを広げたり深めたりすることを目指す。本県出身者で国際的に活躍するフォト・ジャーナリストを取り上げることで生徒の学びへの意欲を喚起したり、手紙の形式で自分の考えを表現することで高橋智史本人と向き合い、対話する場面を設定したりして授業構想の工夫を図ることで、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるように授業を展開したいと考えた。話し合い活動によるグループでの意見交換や全体発表など協働的な学びを通して、言葉による見方、考え方を働かせ、生徒一人一人が「写真の持つ力」とはどのようなものか、自分の考えを深めさせたい。

7 単元の指導と評価の展開

次	時	具体的評価規準と評価方法	学 習 活 動
第1	1 ・ 2 ・	<b>【評価規準】</b> ・文章の構成や段落相互の関係、文脈に即した語句の意味を的確に理解している。(知識・理解) <b>【評価方法】</b> ・記述の点検	○本文「写真の持つ力」を通読し、全体の段落構成を整理し、要旨をまとめる。 ○文中に用いられている「触媒」「想像力」「既成概念」などの語句の意味を的確に理解し、筆者の主張を読み取る。 <b>【学習課題】</b> (ワークシート①) (1)「ジャーナリズムに何ができるのか？」という問いに対する筆者の考えを説明してみよう。

次	3		<p>(2)「全く新しいスタイルのフォト・ジャーナリズム」とはどのようなものだと筆者は考えているか、説明してみよう。</p> <p>(3)筆者の考える「想像力」とはどのようなものか、説明してみよう。</p> <p>(4)筆者が「フォト・ジャーナリズムとは、……世界の人々と『共に生きている』ことを実感させてくれる手段」と述べる理由を説明してみよう。</p> <p>○本文を読んで、筆者の主張について理解したことをまとめる。</p>
第2次	4・5	<p><b>【評価規準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な資料や文章を基に、読み取ったことを相互に関連付けながら「写真の持つ力」について自分の考えを深めている。(読む能力)</li> </ul> <p><b>【評価方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>記述の確認</li> </ul>	<p>○本文と関連する写真集やフォト・ルポルタージュを読み、次の点についてまとめる。 (ワークシート②)</p> <p>(1)フォト・ジャーナリスト高橋智史さんについて (2)カンボジアについて(政治・社会・人々の暮らし・カンボジアと秋田など) (3)写真集やフォトルポルタージュを読んで、印象に残った写真やことばについて</p> <p>○本文「写真の持つ力」を学習して理解したことと関連付けて考えたことを書く。</p>
第3次	6・7	<p><b>【評価規準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な資料や文章を基に、読み取ったことを相互に関連付けながら「写真の持つ力」について自分の考えを深めようとしている。(関心・意欲・態度)</li> </ul> <p><b>【評価方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>記述の分析</li> </ul>	<p>○多様な資料や文章と関連付けながら、「写真の持つ力」について自分の考えをまとめ、発表する。(ワークシート③)</p> <p>(1)グループで意見交換し合う。 (2)「写真の持つ力」とはどういうものか、まとめたことを発表する。</p> <p>○単元のふり返しを行い、学習したことを通して「何が身に付いたか」を言語化する。</p>

## 8 本時の計画(本時 6/7時間)

### (1) 本時の目標

多様な資料や文章と関連付けながら、「写真の持つ力」についてまとめたことを話し合ったり伝えたりする活動を通して、自分の考えを深めることができる。

### (2) 学習過程

過程	生徒の学習活動	学習形態	教師の指導・支援	評価規準 (評価の方法)
導入 5分	<p>1 本時の目標と学習の流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>多様な資料や文章と関連付けて自分の考えを深める。</p> </div>	全体		

展 開 40 分	2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">写真集や文章と関連付けながら、「写真の持つ力」について自分の考えをまとめて発表しよう。</div>	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時で使用したワークシートを準備させ、自分でまとめたことを確認させる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>【評価規準】</b>  資料や文章と関連付けて、自分の考えを深めている。(読む能力)  <b>【評価方法】</b>  発表や記述の分析 </div>
	3 グループ内で意見交換し合う。	グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真集や文章から読み取ったことと関連付けながら「写真の持つ力」について意見を交流させる。</li> <li>グループでまとめた考えをボードに記入し、黒板に掲示させる。</li> </ul>	
	4 グループで「写真の持つ力」について話し合い、まとめる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>どのグループの考えが一番よいか話し合うとともに、それを選んだ根拠を明確にして説明できるように指示する。</li> </ul>	
	5 グループごとにまとめたものを吟味し、一番よくまとめられているものを各グループで一つ選ぶ。		<ul style="list-style-type: none"> <li>選ばれたグループ→これまで学習したことを踏まえて、まとめたことを発表させる。</li> <li>選んだグループ→根拠を明確にして選んだ理由を説明させる。</li> </ul>	
6 各グループで話し合ったことを全体で発表する。	全体			
まとめ 5分	5 本時の学習をふり返し、「写真の持つ力」をまとめる。	個	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の考察の深まりを意識してワークシートにまとめるよう助言する。</li> </ul>	